

学校運営協議会議事録

校名	大阪府教育センター附属高等学校
(准)校長名	福本 美紀

開催日時	令和8年2月19日(月)15:00～17:00
開催場所	探究図書館(1号棟3階)
出席者(委員)	委員名
出席者(学校)	校長、教頭、首席(2)、指導教諭 大阪府教育センター(カリキュラム開発部部长、高等学校教育推進室長、 高等学校教育推進室主任指導主事)
協議資料	1.令和7年度 学校評価について 2.令和8年度 学校経営計画について 3.学校教育自己診断について 4.再編計画について 5.令和7年度 授業研究総括 6.令和7年度 進路状況について 7.令和7年度 国際交流の取り組みについて 8.令和7年度 広報・地域連携総括 9.探究ナビについて

議題等(次第順)	1.令和7年度 学校評価について 2.令和8年度 学校経営計画について 3.学校教育自己診断について 4.再編計画について 5.令和7年度 授業研究総括 6.令和7年度 進路状況について 7.令和7年度 国際交流の取り組みについて 8.令和7年度 広報・地域連携総括 9.探究ナビについて
----------	--

協議内容・承認事項等(意見の概要)	<p>1.令和7年度 学校評価について</p> <p>【報告内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒は肯定的な回答が増加した一方、教員の肯定的な回答は減少した。 安全・安心な学校づくりや大阪府教育センターと一体となった授業研究、地域連携が促進していることが回答から分析することができる。 校務の効率化や校長のリーダーシップに対する評価については、学校再編や通信教育といった先の見えない不安に起因すると考えられるため、透明化や効率化に務める。 <p>【協議内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 変化に対する不安も大きいものと思われるため、透明化には務められたい。 地域連携には今後も推進されたい。 <p>2.令和8年度 学校経営計画について</p> <p>【報告内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校に対する部分」「分校に対する部分」「本校と分校に共通する部分」の3つの要素で構成されている。 本校の目標・計画に大きな差はない。現在の取り組みを継続していきたい。 特に分校では学校が安心できる場所になるよう取組みを進めるとともに、ナビゲーションスクールとして大阪府教育センターを通じて積極的に発信を行っていく。 時間外在校時間に対して働きかけ、長時間超過している教育職員を前年度よりも減少させる。 <p>【協議内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動が時間外在校時間の一因であることは間違いのないため、部活動に対するマインドセットを含めて働きかけなければならない。 災害時に学校と地域が連携する手段、見通しを確かなものにできるよう、協議の機会を設ける等、検討されたい。 <p>3.学校教育自己診断について</p> <p>【報告内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の肯定的な回答が増加した。また、肯定率が下がったものも、低下率は3%未満となった。 生徒からは校舎(設備)に対する要望が多く見られた。 保護者の回答から、本校ではニーズに応じた部活動が展開できていると分かる。 保護者の方からは情報共有についての要望が多く見られたため、次年度は「さくら連絡網」を活用するなど、情報共有に努めたい。 教職員からは業務の集中や分掌改革についての要望が多く寄せられた。情報部の新設の検討など、校務分掌の見直しには早急に努めたい。 <p>【協議内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の所持品の管理等、生徒・保護者・学校で連携して継続的に見直ししていきたい。 マークシート方式からGoogleフォームでの実施に切替えたことで回答率が少し低下したが、回答者の負担も考え、継続してGoogleフォームでの実施を行う。 <p>4.再編計画について</p> <p>【報告内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 再編計画PTにおいて、令和9年度からの取組みについて検討している。 学校再編においては、新しいものを考えるだけでなく、現在の取組みや魅力の再発見・再定義も並行して行う。 「個別最適な学び」をキーワードにししながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の両輪を達成することをめざす。 学校特色枠について、大きく方針の変更を求められたため、本協議会でご意見を賜りたい。 <p>【協議内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「個別最適な学び」や「協働的な学び」という言葉をパンフレットで全面的に押し出しても中学生に伝わらないかもしれない。伝わりやすい言葉で、なおかつ本校での生活が楽しいものであると想像できるようなパンフレットを作成されたい。 特色枠については選抜においてミス等が生じないよう、校内でのシステムを構築されたい。 <p>5.令和7年度 授業研究総括</p> <p>【報告内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「探究的な学びとはなにか」に焦点を当て、教員も探究型に取組むことができる研修を行ってきた。 探究ナビ(スタイル)とその他教科・科目(コンテンツ)との往還を図った。 「探究的な学び」を見つめることは「個別最適な学びとはなにか」を考えることに結実している。 本校独自のキャリア・パスポートである「クローバープラン」について、今年度は生徒目線で話をしたことで、実用化につながった。 <p>6.令和7年度 進路状況について</p> <p>【報告内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標や目的を持つ生徒が大きく増加した。進路未決定者が減少した。 90%以上の生徒が年内に進路が決定している。 摂神追桃への合格率が大きく上昇したが、産近甲龍や関関同立に挑戦する生徒の数は減少した。 進路指導および進路実現に対する満足度が90%を超えていることは、進路多様校である本校の進路指導としては大切にしたいことである。 <p>7.令和7年度 国際交流の取り組みについて</p> <p>【報告内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> オーストラリアのヒースフィールドハイスクールへの短期留学を行っている。 次年度以降、本校から行くだけでなく、海外から生徒を受け入れることも考えていきたい。 <p>8.令和7年度 広報・地域連携総括</p> <p>【広報 報告内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住吉区、住之江区、東住吉区といった、在籍生徒が多いエリアでの広報活動について、教員を十分に配置して、中学生および保護者に対して手厚く説明を行った。 本校生徒の出身中学校に対して説明会の案内を出すとともに、我孫子および矢田エリアの塾へも案内を行った。 学校説明会の運営を各分掌で分担することで、業務の継続性や、改善の加速化を補償し、より良い学校説明会の運営方法を構築する <p>【地域連携 報告内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 四恩学園および苅田小学校と連携を行うことができ、本校生徒の大きな学びに繋がった。 次年度は、四恩学園・苅田小学校との連携を密にするとともに、東我孫子中学校や苅田北小学校とも連携をしていきたい。 <p>9.探究ナビについて</p> <p>【報告内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「探究する学校」をめざして実践を行ってきたが、教員も自然と一緒に探究をする学校文化が構築されていた。そのような教員や仲間の姿を見て、生徒は自身の探究活動を通じて自身の学びや変容に自覚的になることができていく。 本校は「探究」と「授業研究」を2本柱としているが、今年度はそれらが並走することなく、有機的に結びつくことができた。 「個別最適な学び」をキーワードに、今の探究ナビの魅力を再定義・再発見する必要がある。その上で、例えば生成AIを活用するなど、現在の取組を教育DXから深化することで新たな価値や魅力を創造することができる。 真の「学び」には「傷つき」が伴う。今後も探究する学校をめざすためには、安全・安心な学校づくりが欠かせない。探究を通じてそのような学校文化を継続して構築していきたい。 <p>【協議委員からの全体的な助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校文化が学校の特色になる。学校文化を大切にされたい。 私学を希望する中学生が増える中、中高連携のあり方を見直ししていかなければならない。 探究ナビを通して考える力をこれからも育みたい。 探究ナビ2.0を今後とも継続されたい。
-------------------	--

次回の会議日程	
日時	令和8年6月
会場	探究図書館(1号棟3階)